



塩キャベツを持つ筆者

高潮がもたらしたのは被害だけではなく

「塩キャベツ」誕生秘話

熊本・速水健郎

滝のように流れ込んだ
熊本の高潮被害

平成十一年九月末、超大型の台風一八号が九州西海岸を直撃して不知火海沿岸は壊滅的な被害を受けました。ちようど海水位が満潮だったところに気圧の影響を受けて、干拓地を取り囲む堤防を二m以上も超える氾のような高潮が猛烈な勢いで襲ってきました。乗用車やトラックなどがブカブカとどんどん流されていきました。ここ不知火干拓（宇城市小川町）とは海を挟んで対岸の不知火地区（宇城市不知火町）では、住居が高潮に襲われて子どもやお年寄りが一〇人以上亡くなるという悲惨な状況でした。

不知火干拓も死者こそ出ませんでした。が、へどろ混じりの海水がすべてを呑み尽くしてしまいました。住居は畳の上までドロドロの塩水に浸かり、家具類は散乱して、どこから手を付けて

「現代農業 10月号」に法人協会
会員の取り組みが掲載されました。



高潮被害直後の農地の様子

「なんとかキャベツができるかもしれない」と思ったのはその時でした。大

ダメ元で植えてみたらビックリ

それまでほったらかしにしていた海水をかぶったキャベツ畑を見てみると、ポツリポツリと何か緑色のものが生えています。「何だこりゃ？」と見ていると、なんとキャベツでした。高潮に遭ったのに、塩水に浸かったのに、ほんの何本かだけ生き残っていたのです。すごい生命力だと思いました。

植えてみると意外と大丈夫でした。八月下旬頃からの定植時期は真夏の暑さです。塩を少しでも流すためウネ間に水を入れようかとも思いました

クのために自殺する人がいるという噂もありました。家族のことや、これから先のことを考えると眠れない日々が続きました。

「もう一回、農業をやり直してみよう」と思いました。そうすると今まで見え

なかったものが、見えてくるようになりました。自分たちの農地がダメでも、貸してもらええる農地がありました。「機械だって、修理すれば使えるものもあるかもしれないし、残った機械でなんとかつくってみよう」。そう思えるようになったのは、先代の社長が励ましや援助があったからでもあります。

それまでほったらかしにしていた海水をかぶったキャベツ畑を見てみると、ポツリポツリと何か緑色のものが生えています。「何だこりゃ？」と見

ていると、なんとキャベツでした。高潮に遭ったのに、塩水に浸かったのに、ほんの何本かだけ生き残っていたのです。すごい生命力だと思いました。

それまでほったらかしにしていた海水をかぶったキャベツ畑を見てみると、ポツリポツリと何か緑色のものが生えています。「何だこりゃ？」と見

ダメ元で植えてみたらビックリ

「なんとかキャベツができるかもしれない」と思ったのはその時でした。大

植えてみると意外と大丈夫でした。

八月下旬頃からの定植時期は真夏の暑さです。塩を少しでも流すためウネ間に水を入れようかとも思いました



不知火干拓

一面が海水に沈んでしまったことです。

九月の末ですから九州ではイネ刈り前です。畑では、キャベツなどの野菜たちが順調にすくすくと育ち、干拓地一面グリーン地帯が広がっていました。それらが一瞬にして高潮に呑み込まれてしまったのです。

被災後、二日目、三日目と日を追うごとに、イネはさめた灰褐色に染まっけていき、キャベツは緑色がなくなり、まるで塩もみの漬物のようになっていきました。何をどうしていいのか、果然とキャベツ畑を見ていたときのことを今でも鮮明に憶えています。

農水省の調査によると、このように海水が農地に入ると塩分が土壌中にしみ込み、作物ができるようになるまでには、最短でも二〜三年はかかるということでした。したがって、早急に除

キャベツの畑は除塩事業の対象にならなかった

農業機械類がすべて塩水に浸かり、ほとんど全滅に近い状況でした。なかでも、いちばん深刻と思っただけは農地

塩事業をする必要があります。ところが、いろいろな調査等の理由で、早急には進みませんでした。

結局、本格的な除塩事業が始まったのは翌年の春からです。海水に浸かった農地の表面の土を剥ぎ取り、新しい土を入れるという除塩作業です。これとて国の変な規制があり、イネを作付けていた田んぼだけしか認められず、野菜を植えていた畑には除塩事業は行なわれませんでした。

ところが、結果的にはこれがよかつたんです！

海水をかぶった畑で生き残っていた！

私は、国とかをあてにしないで災害に遭った野菜畑をなんとかしようと思いました。

当時は、不知火海沿岸の農家の中には、イグサ（畳の原料）の価格下落による借金苦と高潮被害のダブルショック

自然がキャベツをつくれと言っているように思いました。ダメで元々です。

翌年の平成十二年の七月末から、キャベツのタネ播きを始めました。しかし、キャベツができるかもしれないという期待はあるにしても、順調な生育をするかどうかは植えてみないとわかりません。土壌分析も何回もしました。塩分数値は相変わらず高い状態で、ECは二・〇を超えていました。

キャベツ畑といっても水田の裏作です。植える準備のためのウネ作りを始めたなら、おかしい？ 土が今までのように乾かないのです。塩分のせいでした。キャベツは畑の作物ですから土の乾きが悪いと生育が悪くなります。病気も出やすいです。ますます不安になりました。

植えてみると意外と大丈夫でした。

八月下旬頃からの定植時期は真夏の暑さです。塩を少しでも流すためウネ間に水を入れようかとも思いました

農耕地登録品 除草剤
農林水産省登録 第20997号
グリホサート剤41%
グリホサートイソプロピルアミン塩41%

根も葉も枯らす
**コンパカ
レール** 液剤

グリホサート41%が効く!
葉から入って根を枯らす!

難雑草も枯らす!
大量散布に最適!

大型200Lサイズ
もっとも経済的!

適用作物については
下記HPでご確認下さい
<http://www.konpakareru.jp/>
お問い合わせ先
アイアグリ株式会社 東京支店
TEL.03-3279-0930

現在の社長（濱野真幸）との苦労のはじまりです。同じ海水をかぶった畑といえども、もともとの土壌や施用する堆肥の種類、時期によって、できる野菜の味が変わってきてしまします。そこで、それぞれの畑の土壌分析を行ない、どういう堆肥をどのくらい入れたらよいかなど、試行錯誤が始まりました。

また、その後、わかったことは、高潮被害後、周囲の畑のように土盛りをしてもえなかつた弊社の畑は一番低くなり、そのために地中からミネラル分・塩分が湧いてくるようになってい

たのです。こうして循環型真生ミネラル農法というものを開発し、正式には平成二十二年の冬より、やっと高潮の被害にあった当時の甘みと旨みのある「真生ミネラルしおキャベツ」（商標登録）をつくることに成功しました。

私たち農家は、作物をつくるほうは得意ですが、販売やアピールがたいへん苦手です。そこを現社長が、熊本県の事業に参加し、東京への販売ルートを作り、ホームページでも宣伝することとで、年を追うごとにお客様を増やすことができました。東京・大阪・福岡

等の大都市圏で徐々に有名になり、熊本では知名度が逆輸入の状態になっています。

一〇年かかってやっとここまで復興させていただきました。今回の東日本大震災の被災地の方々に、私たちの経験がそのまま当てはまるとは思いませんが、それぞれの土壌にあった作物を見つけて出す努力をされてみてはいかがでしょうか。ここで一生懸命頑張ることが一〇年後の成功につながると信じています。

（南大自然界真生農業進行取締役）



濱野真幸社長（右）は営業担当、大都市圏への販売ルートを拓いた。蒲島郁夫熊本県知事と

が、やめました。ECが二・〇あるといつても塩分は均一に高いわけではないはず。キャベツは、少しでも塩分の低いところを探して根を伸ばすだろうと考えたからです。水を入れて塩分を溶け出させては、かえってよくないのではないかと思直しました。

その後も生育は順調でした。しかし味はどうなのか。さっそく何個か切って試食してみました。

「あれ？ 塩辛くない！ 甘くて美味

しい、旨みがある」

今まで作っていたキャベツとは、全然、味が違うのです。巻きもしつかりしていてポリウムがあり、食感は柔らかいけどシャキシャキしている。ともかく、食べた人たちに評価してもらおうと思いました。

これが、大自然からの贈り物の話、私たちの「真生ミネラルしおキャベツ」（塩キャベツ）誕生の話です。

高潮が運んできた海水の中にはたくさんの天然ミネラルが含まれていいます。その大自然のミネラルが野菜本来の味を引き出して、今までにないキャベツができたのだと思います。

高潮の被害に遭い、打ちのめされ、「ダメかな……」と一時は諦めかけましたが、結果的には、高潮の被害に遭

ったことで、私たちは新しい野菜栽培に取り組むことができるようになりました。本当に、感謝です。ありがとうございます。私が大自然から教えてもらったことは、大自然の力と働きを受けて、作物をつくりながら大自然の中で生かされているということです。

以下は、後日談です。

「真生ミネラルしおキャベツ」は、ミネラル分・塩分を吸収しますので畑のそれらの成分は、やはり少しづつ少なくなっていくはず。海水を入れればと思いましたが、それではうまくいきませんでした。ここからは、今度は

大自然からの贈り物、
地中からミネラル・塩分が湧いてくる

“低コストでも安心、高品質”
自分で増やせる光合成細菌は
農業環境改善の強い味方です

（臭気、カビ、雑草、害虫、病害、水害、非カシ、増肥、生ゴミ処理、合併浄化槽等広範囲利用）

培養内容も含めて公開、ペットボトルや衣ケースで簡単に、格安に培養できます
（20回分からは20Lが600円）

光元菌 20L	5,000円
光材料 20分×20回分	12,000円
生ゴミ処理や家庭菜園に	
三つ目光元菌 2L×3本	3,500円
（セット）光材料 20分×2回分	
堆肥化や有機物の急速分解に有効な耐熱性パルス菌	
パルス菌 20分×20回分	9,000円
バ材料 20分×20回分	3,500円
消費税は、送料別 代金後払 郵便振替	

三河環境微生物 さとう研究所
愛知県岡崎市舞木町孤山30-19
TEL 0564-48-2466
FAX 0564-48-3260